

委 員 会 報 告 書

No.1

|  |  |        |   |      |        |   |      |         |   |
|--|--|--------|---|------|--------|---|------|---------|---|
| 委 員 会 名  | 第1回献血・献眼・献腎・骨髓移植委員会  |        |   |      |        |   |      |         |   |
| 開 催 日  | 2016年9月21日(水) 15:00～17:00                                  |        |   |      |        |   |      |         |   |
| 開 催 場 所  | 330複合地区ガバナー協議会事務局「会議室」                                     |        |   |      |        |   |      |         |   |
| 記 録 者  | L湯田 啓一   |        |   |      |        |   |      |         |   |
| 出 席 者  | 委員長  | L 金子義人 | 出 | 副委員長 | L 湯田啓一 | 出 | 副委員長 | L 佐々木利和 | 欠 |
|  | 副委員長   | L 藤岡 勝 | 出 | 副委員長 | L 宮嶋鉄志 | 欠 | 副委員長 | L 井上 潔  | 出 |
|  | 副委員長   | L 丸山泰幸 | 出 | 委 員  | L 原田貞機 | 欠 | 委 員  | L 山口勝一  | 出 |
|  | 委 員  | L 堂屋敷淳 | 欠 | 委 員  | L 秋山武仁 | 出 | 委 員  | L 望月憲一  | 出 |
|  | 委 員  | L 鶴田一郎 | 欠 | 委 員  | L 村上眞之 | 出 | 委 員  | L 菅原富士男 | 欠 |
|  | 委 員  | L 伊藤英信 | 出 |      |        |   |      |         |   |
| 日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター 事業部 献血管理課<br>課長乙訓高一様、係長中村篤典様、主事山田龍彦様 |  |        |   |      |        |   |      |         |   |
| 次 回 委 員 会  | 日時：2016年12月15日(木) 15:00～17:00<br>場所：330複合地区ガバナー協議会事務局「会議室」 |        |   |      |        |   |      |         |   |

【議 事】

1) 複合地区議長の当委員会に対する諮問事項確認

①各準地区の活動状況を把握し更なる活動発展の方策を検討。②NGO等諸団体との連携交流

2) 「血液事業の現状報告と今後の課題」 乙訓高一課長

H24年度より都道府県体制から7つのブロックで運営。当複合地区は関東甲信ブロックに。血液製剤の種類により有効期限が違う。赤血球 21日間、全血 21日間、血漿 1年間、血小板 4日間。(血漿、血小板は献血ルームで採血。)

需要予測と日々の在庫状況(適正在庫3日間)に基づき採血計画→バスの配車計画  
400ml 献血が90%を超える。各副作用のリスクが減る。

バス1稼働あたり採血数(H27) 埼玉42.7人、東京44.6人、神奈川40.6人、山梨43.2人  
東京は、供給が増加し献血者が減少の傾向にあり、H26年では5、8、2月しか間に合っていない。  
毎年 年末年始の献血者が少なく、1月は適正在庫を割る。特に松の内はバスの要請が少ない。  
献血者の年代別では、30才未満が減少。

製造数に対する供給数の差では、埼玉▲8723、東京▲20571、神奈川▲8821、山梨+5239  
各血液センターに、ぜひ例会に呼んで説明を要請してください。

意見

- ・企業献血は、効率が良い。
- ・自衛隊、警察などの公共機関の献血は法律で義務化
- ・高校生の献血推進は埼玉が1番。なかなか授業に入れて貰えないので、薬物乱用と一緒に献血の説明。文化祭でのバスの出勤などを複合から各準地区に広報して。
- ・テントの改良を検討して。暑さ対策、寒さ対策、風対策

3) 各準地区の現況確認

次回委員会 2016年12月15日(木)15時00分 複合事務局